生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン（P2参照）では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の４つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて、進行管理を行っています。

指標及び進捗状況

施策の柱	指　標	基準値（平成23年度）	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値（平成32年度）
理解する	生物多様性の理解度（意味を知っている人の割合）	33.1%	28.8%	36.6%	33.7%	34.8%	28.6%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市　民：5.0% 事業者：40.4%	市　民：4.4% 事業者：44.4%	市　民　― 事業者：64.3%	市　民　― 事業者：66.6%	市　民　― 事業者：64.5%	市　民：3.1% 事業者：58.9%	市　民：10% 事業者：60%※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況※2	――	――	――	――	――	――	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	――	――	――	27.0%	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消：65.7% 環境配慮商品：27.4%	地産地消：59.3% 環境配慮商品：25.0%	――	――	――	地産地消：60.7% 環境配慮商品：18.1%	地産地消：75% 環境配慮商品：50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.0%	57.5%	69.4%	44.7%	50.0%	59.4%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」（協働する）については、平成27年度の目標値。
※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」（継承する）については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

評価と今後の取組

平成29年度は、「理解する」取組として、新たに市内の小学生から読み札を募集して「生き物かるた」を作成しました。「生き物かるた」は、市内の小学校や児童会館等に配布したほか、かるた大会の開催をはじめ、各種普及啓発イベントでも活用しました。また、有識者による外来種問題や希少種保全をテーマとした基調講演、パネルディスカッション等をプログラムとした生物多様性フォーラムも開催し、多くの市民が参加しました。

「協働する」取組としては、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがし」を実施し、「指標種」の生息・生育情報の収集に努めました。また、「継承する」取組としては、地域住民が身近な自然や環境について考えるきっかけとなるようなパネル展やイベント、街路樹調査、外来種駆除体験会等を開催しました。

成果指標については、市民アンケートを行った結果、「生物多様性の理解度」（理解する）は28.6%と前年度よりも低下していましたが、「自然と積極的に触れ合っている割合」（活用する）や「地産地消」（活用する）については、平成25年度と比べ上昇していました。また、企業アンケートを行った結果、「生物多様性の保全活動に取り組んでいる事業者の割合」（協働する）は、平成28年度と比べやや減少し、目標値を下回りましたが、「事業者の原材料調達時の配慮の割合」（活用する）については、上昇し、平成28年度に引き続き目標値である50%を越えました。

「活用する」については、市民、事業者共に増加傾向が見られた一方、「理解する」については、過年度と同様に目標値を下回っていることから、今後は、多くの市民が生物多様性の理解を深める機会の創出、新たに構築した「札幌市動植物データベース」の活用等、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを強化していきます。また、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組もあわせて行っていきます。

●編集・発行　平成30年（2018年）12月
札幌市環境局環境都市推進部環境管理担当課
〒060-8611　札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
TEL 011-211-2879　FAX 011-218-5108

札幌市　生物多様性　検索　http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/

Think Green 環境首都・札幌
SAPPORO
さっぽろ市 01-J02-18-2133 30-1-158
VEGETABLE OIL INK　R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用　リサイクル適性A この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

〈平成30年度〉

札幌市 生物多様性 レポート

Biodiversity Report in Sapporo-city

つながる ひろがる 命の輪 生物多様性さっぽろ

目　次

生物多様性さっぽろビジョンの概要 ・・・・ 2
札幌市の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
札幌市の取組一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・ 9
コラム～生物多様性の基礎知識～ ・・・・・・15
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理　16

札幌市

札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。

札幌市生物多様性レポートでは、平成29年度の取組について報告します。

生物多様性さっぽろビジョンの概要

私たちが暮らす札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されていますが、都市化に伴う生息・生育環境の縮小などにより、生物多様性が失われることが心配されています。

そのため、札幌市では生物多様性の保全に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち　さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。

「生物多様性さっぽろビジョン」の体系図

理念　北の生き物と人が輝くまち　さっぽろ

目標

- 豊かな生物多様性と共生する都市づくり
- 生物多様性に配慮したライフスタイルの実践
- 伝統資源の継承及び創造

推進する施策

土台形成 意識・参加・連携

施策の柱 1　**理解する**
生物多様性に対する理解を深めます
①自然とのふれあいの場の充実
②環境教育・普及啓発
③調査分析・情報共有
④生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する技術の向上

施策の柱 2　**協働する**
生物多様性の保全に皆で取り組みます
①活動主体の育成、支援
②連携の仕組みづくり

実践行動 保全・持続可能な利用

施策の柱 3　**継承する**
生物多様性を守り育て、将来に伝えます
①生息・生育環境の保全と拡大
②野生生物をめぐるトラブルの軽減
③環境負荷の低減
④歴史的文化的資産の継承

施策の柱 4　**活用する**
生物多様性の持続可能な利用を進めます
①自然を活かすライフスタイルの推進
②環境に配慮した消費行動の推進
③持続可能な社会経済活動への活用

札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

生物多様性の保全

生物多様性推進事業（環境局 環境管理担当課　TEL 011-211-2879）

まちなか生き物活動

理解 協働 継承 活用

「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、特にまちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な提案者に業務を委託し、実施しました。

平成29年度は、「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」と「街路樹マッピング」を実施しました。

「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」は、外来種でありながら身近な生き物として認識されつつあるアメリカザリガニを通して、生き物の飼育や札幌市内の外来種問題について広く普及啓発を行うもので、市民参加型のアメリカザリガニ捕獲・観察会、生き物の飼育について考えるワークショップ、活動報告会を実施し、延べ158名が参加しました。捕獲・観察会で捕獲したアメリカザリガニは、円山動物園で開催された夏休みの特別企画展「もう増やさないで！北海道の外来生物展」で展示し、外来種問題についての普及啓発に活用しました。

「街路樹マッピング」は、身近な緑である街路樹を調べ、何種類の街路樹がどれくらいあるか、また、他の生き物に対してどんな役割を果たしているかを知ることによって、生物多様性に興味を持ってもらうことを目的に実施し、延べ81名が参加しました。イベント当日は、専門家の指導のもと街路樹の調査やオリジナル植物図鑑の作成を行いました。

▲アメリカザリガニ捕獲・観察会の様子

◀調査風景

◀結果の入力

◀まとめの会の様子

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka.html

※理解・協働・継承・活用は、「生物多様性さっぽろビジョン（P2参照）」の4つの施策に対応しています。

さっぽろ生き物さがし2017

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成29年7月15日～10月9日にかけて、「さっぽろ生き物さがし2017」を行いました。「さっぽろ生き物さがし2017」は、札幌らしい自然環境に生息・生育する代表的な動植物である「指標種」のうち、カモ、トンボ、バッタ、マルハナバチ、草の実の5つのグループについて、市内の生息・生育状況を調べるものです。参加した皆さんには、確認した生き物について、見つけた場所や日時を報告していただきました。

調査には、66チーム331名が参加し、総データ数は1,464件になりました。調査した地区数は171地区（1km四方の単位）で、札幌市の約14%にあたります。

調査によって得られた結果は、対象の生き物ごとに、見つけた環境や季節について整理し、参加者の皆さんから寄せられた写真とともにニュースレター形式でまとめました。また、結果をもとに作成した「分布マップ」や、参加者が撮影した写真を展示するパネル展も開催しました。

◀写真コンテスト作品

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/29chosa.html

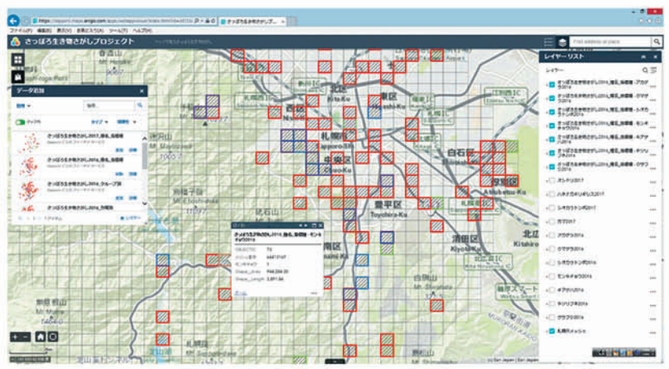
さっぽろ生き物さがしプロジェクトについて

「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」は、平成25年度から開催している市民参加型の生き物調査で、平成28年度からは、森林や草地、水辺等の自然環境の指標となる生き物である「指標種」を調査対象としています。参加者の皆さんから寄せられた結果については、毎年蓄積し、市内の自然環境の変化の把握に活用しています。

平成29年度には、さっぽろ生き物さがしプロジェクトの結果を含めた市内の動植物の生息・生育情報と文献情報を管理する「札幌市動植物データベース」を構築しました。また、あわせてWebマップアプリケーションも構築し、さっぽろ生き物さがし2016、2017の結果を公表しています。平成30年度以降の「さっぽろ生き物さがし」では、メールやFAXに加えて、ホームページからの結果の報告が可能になります。

今後は、さっぽろ生き物さがしの結果だけではなく、その他の生き物の生息・生育情報についても随時公開する予定です。

マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト
https://sapporo.maps.arcgis.com/apps/webappviewer/index.html?id=dd711eea1d4a4c1e893be91f9bf8a6e1



▲マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト

生き物かるた

理解 協働 継承

平成29年9月1日～10月31日にかけて、市内の小学生から生き物をテーマとしたかるたの読み札を募集し、1,607作品の応募がありました。その中から最優秀賞1作品、優秀賞2作品、生物多様性さっぽろネットワーク賞4作品を含めた44作品を選出し、「生き物かるた」を作成しました。完成した生き物かるたは、市内の各小学校、幼稚園、児童会館等へ配布を行った他、かるたを利用した作品展やかるた大会も開催しました。

生き物かるたは、下記アドレスからもダウンロードできます。

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html

札幌市立幌北小学校
菊谷 美月さん

札幌市立石山南小学校
今枝 龍我さん

札幌市立元町北小学校
村松 朋音さん

生物多様性さっぽろネットワーク賞

札幌市立月寒小学校
6年2組の皆さん

札幌市立美香保小学校
林 奏弥さん

札幌市立中の島小学校
大内 りんさん

札幌市立新発寒小学校
井戸井 亮介さん

※受賞者の学校名は平成29年度時点

生物多様性パネル展

理解 協働 継承

生物多様性についての理解促進を図るため、市内各所で実施される環境関連イベントにて、パネル展示やリーフレットの配布を行いました。

平成29年5月	“国際生物多様性の日”生物多様性パネル展（白石区まちづくりイベント広場）
6月	第21回北の都札幌ツーデーウオーク（中島公園） 水道フェスタ2017（札幌市水道記念館）
8月	環境広場さっぽろ2017（アクセスサッポロ）
9月	人とペットの暮らし広場2017（北海道庁前庭） こまおか秋まつり（札幌市保養センター駒岡）
12月	さっぽろこども環境コンテスト2017（札幌エルプラザ） 子育て未来フェスティバル（札幌コンベンションセンター）
平成30年3月	生き物つながりパネル展（札幌駅前通地下歩行空間）

◀「国際生物多様性の日」生物多様性パネル展

▲人とペットの暮らし広場2017

▲第21回北の都札幌ツーデーウオーク

生物多様性フォーラム

理解 協働

生物多様性を広く普及する取組の一環として、平成30年3月11日に札幌市円山動物園にて、「生物多様性フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、外来種問題について五箇公一氏（国立研究開発法人国立環境研究所）、希少種保全について齊藤慶輔氏（猛禽類医学研究所）にご講演いただいた後、吉田剛司氏（酪農学園大学）をコーディネーターとして、市民参加とデータベースの活用をテーマにパネルディスカッションを行いました。

また、あわせて、生き物かるたの読み札表彰式と生き物かるたを使ったかるた大会を実施しました。

◀「生物多様性フォーラム」ポスター

▲「生物多様性フォーラム」パネルディスカッション の様子

生物多様性リーフレット等の紹介

前ページで紹介した「生き物かるた」以外にも、「職員が考えた生物多様性かるた」や生物多様性について解説したリーフレット等、下記アドレスからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

①生き物かるた・職員が考えた生物多様性かるた
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html

②今、できることからはじめよう!!
～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～
生物多様性を守るために今すぐできる行動をまとめたハンドブック

③札幌市版レッドリスト2016ガイドブック
札幌市に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物についてのリスト

④まもろう札幌の仲間たち。
「札幌市版レッドリスト2016」について、
子ども向けにわかりやすく解説したハンドブック
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/pamphlet.html

◀②今、できることからはじめよう!!～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～

◀③札幌市版レッドリスト2016ガイドブック

◀④まもろう札幌の仲間たち。

生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設（平成30年8月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

平成29年度は、16の施設を巡る「いきものつながりクイズラリー2017」を実施し、294名が参加しました。

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html

◀「いきものつながりクイズラリー」ポスター

活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、札幌市百合が原緑のセンター、
サッポロさとらんど、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、
札幌市平岡樹芸センター、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、
札幌市滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山渓自然の村、札幌市動物管理センター

活動拠点の紹介

●札幌市下水道科学館

札幌市下水道科学館は、普段見ることのできない下水道の世界や下水道に関わる仕事を体験し、下水道の仕組みや下水道が水環境の保全に果たす役割について、楽しく学ぶことができる施設です。平成30年3月には、展示内容がリニューアルされ、下水道の世界や仕事を体験する11種類の体験コーナーや、CGを活用したリアルな川の流れや川に生息する魚類・鳥類等が飛び出す映像体験など、体験型中心の展示となっています。

また、隣接する創成川水再生プラザ（下水処理場）では、下水処理の過程を見学することもできます。

http://www.sapporo-src.com/kagakukan/

▲札幌市下水道科学館

●札幌市百合が原緑のセンター

札幌市百合が原緑のセンターは、百合が原公園にある施設として都市緑化の普及を行っています。緑の相談や温室での植物展示会・講習会等の実施により植物情報を発信しています。また、隣接するロックガーデンは、本州では栽培が困難な高山植物を植栽し、園内では植物に関連したオリエンテーリングや園内ガイド等も実施しています。

なお、百合が原公園では、公園管理で発生する様々な植物の廃材を主な材料とした堆肥やチップの製造、施用を行っており、環境への負荷を抑えた公園管理に取り組んでいます。

http://yuri-park.jp/

▲百合が原緑のセンター

生物多様性さっぽろ応援宣言

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成27年9月より、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組をＰＲして、企業・団体のみなさまの取組を支援する制度、「生物多様性さっぽろ応援宣言」を開始しました。

平成30年9月現在で、83企業、24団体が登録しています。

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/sengen.html

宣言企業

83企業

- 赤帽　シェルパ
- 赤帽田中館運送店
- (株)あづまや質店
- (株)アドバコム
- (株)アミノアップ化学
- イオン北海道(株)
- 石上車輌(株)
- (一財)さっぽろ健康スポーツ財団
- (株) エコ・サッポロ
- (株)エコニクス
- エコフィスジャパン(株)
- FRSコーポレーション(株)
- (株)FF
- (株)大庭組
- 岸本産業(株)
- (株)キタデン
- 協友建設工業(株)
- クボタ環境サービス(株)　北海道支店
- (株)熊谷組　北海道支店
- (株)建設環境研究所　札幌支店
- (株)建設技術研究所　北海道支社
- (株)耕電設　札幌支店
- ことばサポーターなぐね
- (株)小林サイクル商会(オニキス札幌中央)
- (株)サジェコ
- (株)札幌今村電機
- (公財)札幌市公園緑化協会
- (株)さっぽろ自然調査館
- 札幌大同印刷(株)
- (株)札幌ドーム
- (株)札幌リフォームセンター
- 三兼建設工業(株)
- システムサービス(株)
- 正電テクノ
- (株)昭和陶業
- (株)水工技研
- 鈴木総合住設
- 生活協同組合コープさっぽろ
- (株)セイショウ
- (株)セ・プラン
- (株)ソフトガーデン
- (株)大伸
- 大同舗道(株)
- (株)長大
- (株)ディスプレイセンター北創
- デリシャス(株)
- (株)東亜エンジニアリング
- (株)東急コミュニティー　北海道支店
- (株)トーエイ
- (株)ドーコン
- 西松建設(株)　札幌支店
- (株)日水コン　北海道支所
- 日本航空(株)
- 日本信号(株)　北海道支店
- 日本緑化工(株)
- (株)花の八幡屋
- (株)日立ソリューションズ東日本
- 富士ゼロックスシステムサービス(株)　北海道支店
- (株)プリプレス・センター
- (株)ホクスイ設計コンサル
- (株)北洋銀行
- 北海コンノ急送(株)
- (株)北海道アルバイト情報社
- 北海道衛生工業(株)
- (株)北海道建設新聞社
- 北海道トンボ(株)
- 北海道フーズ輸送(株)
- 丸昇　佐々木電気
- 丸富テント工業(株)
- マルホン北英建設(株)
- マルミプラス(株)
- (株)ミスターブルー
- (株)宮田組石工
- 明和工業(株)
- 森山泰志税理士事務所
- 安田興業(株)
- 雪印種苗(株)
- 雪印メグミルク(株)
- ユニオンデーターシステム(株)
- (株)ユニコロン
- 横浜植木(株)　北海道支店
- (株)リベース
- (株)ローソン

宣言団体

24団体

- 旭山記念公園市民活動協議会
- NPO法人エゾシカネット
- NPO法人カラカネイトンボを守る会 -あいあい自然ネットワーク-
- NPO法人札幌歩こう会
- NPO法人札幌カラス研究会
- サッポロさとらんど
- (公社)札幌消費者協会「北海道エゾシカ倶楽部」
- 札幌市立定山渓中学校
- 札幌南ふゆみずたんぼの会
- 札幌ワイルドサーモンプロジェクト
- 食輪の会
- 地縁団体　藤ヶ丘西町内会
- 手稲さと川探検隊
- 八紘学園　耕機科
- 北海道希少生物調査会
- 北海道グリーン購入ネットワーク
- 北海道自然観察協議会
- (公財)北海道自然体験学習財団
- 北海道シマフクロウの会
- NPO法人北海道森林ボランティア協会
- 北海道ボランティア・レンジャー協議会
- NPO法人ポロクル
- 簾舞国蝶オオムラサキ保存会
- NPO法人藻岩山きのこ観察会

※平成30年9月現在、五十音順

株式会社セイショウ

https://www.kk-seisyou.com/

平成2年に設立されたセイショウでは、二酸化炭素や窒素酸化物等の大気汚染物質の排出が少ないエコカーの積極的な導入や、ペットボトルキャップの分別回収、リングプルのリサイクルなどを通じて、環境負荷の低減や省資源など地球環境の保全に努めています。また、毎週火曜日には、各営業所にて近隣の清掃活動を実施するなど、様々な環境保全活動を全社的に実施しています。

特定非営利活動法人札幌カラス研究会

http://www13.plala.or.jp/crow-sapporo/

平成18年に任意団体としてスタートし、平成24年法人設立の当会は、カラス類をはじめとする野鳥の生態と連鎖関係を研究することで、野鳥と人が共存するための道しるべを確立し、生態系安定や環境保全を図ることを目的に、日々カラスの生態調査・研究を行っています。調査・研究成果については、講演会や学会等で発表することで、学術の発展に貢献するとともに、カラスについての正しい知識の普及啓発にも取り組んでいます。また、全国からのカラスの相談にも応じています。

札幌市の取組一覧

Ｐ３～８で紹介した事例以外にも、札幌市では生物多様性の保全につながるさまざまな取組を行っています。

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
自然環境の保全	札幌の希少植物調査	札幌市博物館活動センターでは、札幌市版レッドリスト掲載植物について生育調査や結実調査を行う「札幌の希少植物調査」を実施し、確認された植物について写真や位置情報を記録し、標本を作製。調査結果についてはパネルや標本を用いた企画展示「かるたで知る札幌の植物展」として市民へ広く発信。	理解	市民文化局 文化振興課
	鳥獣被害防止（特定外来生物の防除）	農作物被害防止の一環として、特定外来生物であるアライグマ等（アライグマ、カニクイアライグマ、アメリカミンク）について、「札幌市におけるアライグマ・カニクイアライグマ防除実施計画書」に基づき野外からの排除を目指し適正に処理。	継承	経済観光局 農業支援センター
	環境影響評価事業（環境アセスメント）	大規模開発等による自然環境等への影響について未然に回避・低減等を図るため、法及び市条例に基づく環境アセスメント手続を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/	継承	環境局 環境管理担当課
	さっぽろ環境賞	環境保全に関する意識の向上、環境配慮活動のさらなる推進を図ることを目的に、札幌の豊かな環境の保全に貢献する個人、企業、団体を顕彰。第9回表彰では、「市民・団体部門」8件、「企業部門」6件の合計14件の応募の中から、6件を顕彰。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/award/	理解	環境局 環境管理担当課
	さっぽろエコメンバー登録制度	環境配慮取組の輪を広げることを目的とした制度。「生物多様性の保全に向けた取組・支援」など、環境に配慮した取組を自主的に行なっている市内事業所を取組内容に応じて3段階の区分で登録。ホームページ等でその活動を紹介。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ecomember/	継承	環境局 環境管理担当課
	野生鳥獣（ヒグマ）の対応	市街地周辺にヒグマが出没した際、関係機関と連携を図り、出没状況に応じた対応・対策を実施。また、平成29年3月に策定した「さっぽろヒグマ基本計画」に基づき、危機管理体制の整備など、出没時の対応を充実するとともに、被害を未然に防止するために、市街地侵入抑制策など総合的な対策を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/	理解 協働 継承	環境局 環境管理担当課
	野生鳥獣（エゾシカ）の対応	市街地の住宅密集地に出没したエゾシカについて、市民生活への被害を防止するため、関係機関等と連携を図り、追い払い・見守り・捕獲などの対応を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/	理解	環境局 環境管理担当課
	野生鳥獣（ヒグマ、エゾシカを除く）の対応	11種の野生鳥獣について鳥獣保護管理法に基づく「有害鳥獣駆除許可事務」を行い、市民と野生鳥獣とのトラブルの軽減、適正な保護を実施。また、繁殖期における親ガラスの威嚇行為軽減のため、専門業者に委託し、子ガラス捕獲放鳥業務を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/	継承	環境局 環境管理担当課
	特定外来生物（アライグマ）の対応	外来生物法に基づき策定した「札幌市におけるアライグマ防除実施計画」により、適正な生態系の保全のため、専門業者に委託し、アライグマ捕獲処理業務を実施。	継承	環境局 環境管理担当課
	サケの遡上親魚捕獲及び産卵床調査	河川におけるサケの定期的な遡上親魚調査及び産卵床調査を実施し、遡上状況や産卵環境を把握。結果は市民へ情報提供。 https://salmon-museum.jp/	理解 継承	建設局 みどりの管理課
	豊平川における野生さけの優先的保全活動への取組	豊平川における野生さけの優先的保全を目的として、市民団体「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」との連携により、豊平川のさけふ化放流事業に「順応的管理」の手法を導入。遡上親さけの野生魚と放流魚の割合を継続的なモニタリング調査により把握し、結果は市民へ情報提供。 https://salmon-museum.jp/	理解 協働	建設局 みどりの管理課
	大通花壇市民による花苗植え込み	大通公園の花壇の花苗の植え込みを一般市民・企業・市民団体・小学生などとの協働により3回実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	協働	建設局 みどりの管理課
	外来種除去ボランティア	円山公園内に繁茂するゴボウ、イワミツバ等の外来種除去活動を市民ボランティアにより実施。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承	建設局 みどりの管理課
	クゲヌマラン生息調査（豊平公園）	豊平公園内に自生するクゲヌマランの生息状況調査を実施。自生しているエリアは、生息個体を避けて草刈りを行うなどの保全を実施。 https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承	建設局 みどりの管理課
	緑化講習会の開催（豊平公園）	草花や果樹等に関する植物講習会を年間40回以上開催し、環境負荷の少ない栽培方法などについて普及啓発を実施。 https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承	建設局 みどりの管理課
	トノサマガエル（国内外来種）の生態・影響調査（平岡公園）	「平岡どんぐりの森」、「酪農学園大学」、「東海大学」との協働で、国内外来種であるトノサマガエルの調査を実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働	建設局 みどりの管理課
	緑化講習会の開催（平岡樹芸センター）	樹木に関する実践形式の講習会を年間20回以上開催し、環境負荷の少ない管理について普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/	理解 協働 継承	建設局 みどりの管理課
	コガネムシの捕殺活動（平岡樹芸センター）	園内の樹木（オンコ）の害虫であるコガネムシが大量発生した場合、殺虫剤による一律駆除ではなく、捕殺による駆除を公園ボランティアと共に実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/	理解 協働 継承	建設局 みどりの管理課

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
自然環境の保全	みどり資源の保全推進事業	市街地を取り巻く森林や市街地に残された貴重な樹林地のうち、自然環境・景観及び防災上などの公益的機能上特に保全が必要な地域や、開発等により保全上支障をきたす地域を計画的に公有化し、保全。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/	継承	建設局 みどりの管理課
	市民の森事業	市街地を取り巻く一般民有林を自然のふれあいの場として市民に開放するとともに、所有者の協力を得ながら当該森林の整備に努め将来にわたり良好な森林として保全、活用。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shiminnomori/	継承・活用	建設局 みどりの管理課
	さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭	みどり豊かなまちづくりの一環として、市民と共に愛着を感じる森づくりを「あいの里・福移の森緑地（北区）」で実施。430名の参加者のもと、1,270本の苗木を植栽。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/furumori/#k1	理解・協働・継承・活用	建設局 みどりの管理課
	森林ボランティア	「都市環境林」、「市民の森」、「特別緑地保全地区」等において、草刈、間伐、枝打ち等の市民による積極的な森林保全活動を実施。資機材の提供・技術指導等、森林ボランティアとして登録している17団体の活動を支援。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/volunteer/	理解・協働・継承・活用	建設局 みどりの管理課
	札幌水源の森づくり	貴重な水源林である定山渓国有林の再生及び機能の維持・向上と、市民と森林の関わりを深めること等を目的に、林野庁北海道森林管理局と共催で市民参加のもとバイオブロック苗木（カミネッコン）を400個作成し、植樹を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/	理解・協働・継承・活用	建設局 みどりの管理課
	札幌市河川環境推進会議の開催	よりよい河川環境を保全・創出するため、札幌市河川環境推進会議を開催することで、「札幌市河川環境指針」の進捗状況を確認し、自然環境を考えた川づくりが行われているか検証。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyoushishin/suisinkaigi.html	協働・継承	下水道河川局 河川事業課
	多自然川づくり	治水を目的とした河川改修にあたって、良好な水辺空間を円滑かつ積極的に形成するため、河川が本来有している生物の良好な生育環境への配慮と、美しい自然景観を保全・創出する「多自然川づくり」を実施。	継承	下水道河川局 河川事業課
	札幌市河川美化活動支援制度	札幌市の維持管理河川等において、河川等の愛護精神の高揚及び良好な河川環境の保全を目的に、美化活動（清掃・草刈等）を実施する町内会・河川愛護団体・企業・NPO等を支援。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-04.html	協働・継承	下水道河川局 河川管理課
	札幌市河川モニター制度	河川監視の強化と市民の河川に対する関心を高めることを目的に、市民による河川愛護活動の活性化及び市民の観点による河川環境情報の収集を図る施策の一環として実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-01.html	理解・継承	下水道河川局 河川管理課
	河川水環境調査	下水処理水が河川環境へ与える影響を把握するため、各河川の環境基準達成に必要な各水再生プラザの放流水質を調査。また、水再生プラザ上下流での付着珪藻・底生動物の生息状況を調査し、生態系に与える影響を評価。	継承	下水道河川局 処理施設課
	下水処理施設の適切な運転管理	河川の環境基準達成のため、下水処理施設の適切な運転管理による放流水質の改善を継続して実施。 http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/02_shikumi02.html	継承	下水道河川局 処理施設課
	特定外来生物（オオハンゴンソウ）の防除	北区新琴似地区と屯田地区の間に位置するポプラ通り中央緑地（全長約2.1km）の自生植物（オオウバユリ、スミレ類等）を保全するため、地域住民団体（ポプラ通りを守る会）と協働によりオオハンゴンソウの防除作業を実施。	理解・協働・継承	北区 維持管理課
	白石区まち美化プログラム	ボランティアによる区内道路の清掃活動等を支援し、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/katsudo/machibika/	協働	白石区 地域振興課
	清田区アダプト・プログラム	地域団体や企業等による、道路等の一定区画の公共の場所における継続的な環境美化活動を支援。（参加団体14団体） http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/adopt.html	協働	清田区 地域振興課
	川の美化事業	琴似発寒川と左股川の河畔約12kmにおいて、各連合町内会や地元の企業・団体等の有志による清掃を春と秋に実施。（参加者3,529名）	協働	西区 地域振興課
	西区アダプト・プログラム	地域住民や企業等が自主的に行う道路や公園等の清掃活動に対し、用具の提供や傷害保険の加入等により支援。（参加団体43団体） http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html	協働	西区 地域振興課
	地域住民による野生生物保全事業	星置緑地等3公園に自生するスズラン、ミズバショウ、カタクリ等の地域住民による保全活動を推進。自然観察会、専門家による帰化植物の抜き取り・ススキの刈り取り等の作業指導も実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/dobokubu/kouenryokuka/hozennkatudou.html	理解・協働・継承	手稲区 維持管理課
自然体験	野外観察会・体験学習会	札幌市博物館活動センターで、札幌の自然を核とした、植物や自然史に触れる野外観察会・体験学習会を実施。その一部は市民団体と連携して実施。 （ぶらりネイチャー～初夏のお花ガイド～、ボトルアクアリウム作り、きのこウオッチング等）	理解・協働・活用	市民文化局 文化振興課
	北海道フラワーソン2017への参画	野の花の開花状況等を5年ごとに市民が一斉に調べる「北海道フラワーソン2017」の事業として、野外観察会の実施と、西岡公園での親子向け行事に協力。	理解・協働・継承・活用	市民文化局 文化振興課

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
自然体験	水生生物観察会の支援	水辺環境の保全と活用に関する市民意識の啓発のため、水生生物観察会への環境教育リーダーや職員の派遣、調査用品の貸出等の支援を実施。 【環境対策課（27回、参加者964名）】 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyou/ 【河川事業課】 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/seibutsukansatsukai.html	理解・協働・継承・活用	環境局 環境対策課 下水道河川局 河川事業課
	さかなウォッチング	北の沢川・琴似発寒川・星置川において、たも網を使用して淡水魚等の水辺の生物を捕獲し、種・生態・河川環境等の解説を実施。参加者を募集する際は応募型とし、また、学校等の申込みによるさかなウォッチングも可能な限り対応。 https://salmon-museum.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	サケ観察会	豊平川・琴似発寒川・星置川において、市民を対象としたサケ観察会を実施し、遡上するサケやサクラマス等の生態や河川環境等の解説を実施。参加者を募集する際は、琴似発寒川・星置川については、時間帯を決め自由参加型とし、豊平川については応募型（サーモンウォッチング）としている。また、学校等の申込みによる観察会も可能な限り対応。 https://salmon-museum.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	中島Kidsガーデン	地域団体との共催で児童向け体験菜園を実施し、子ども達が楽しみながら植物や土に触れ学習できる場を提供。苗の植え込み、管理作業、収穫、調理、まとめ新聞の作成など全19回の活動。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解・協働・活用	建設局 みどりの管理課
	鴨々川いきもの観察会	街中の川に暮らす生き物の観察、生態についての学習を通じて、河川環境に対する美化意識の向上を図ることを目的に、専門家による生き物観察会を鴨々川で実施。 【みどりの管理課】 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/ 【河川事業課】 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu0901.html	理解・協働・活用	建設局 みどりの管理課 下水道河川局 河川事業課
	都会の野鳥観察会	都市部において野鳥と親しむ機会を提供することにより、野鳥の生態や接し方への理解を深めることを目的に、専門家による野鳥の観察会を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解	建設局 みどりの管理課
	円山のリス調査	円山公園内に生息するエゾリス、エゾシマリスの市民参加型生態調査を実施。 http://maruyamapark.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	オリエンテーリング	植物や公園をテーマにしたクイズを百合が原公園内各所に設置し、利用者が回答しながら植物について学ぶことを目的としたオリエンテーリングを開催。 http://yuri-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	お散歩ガイド	百合が原公園にて、ボランティアガイドによる園内ガイド、植物の説明、季節ごとの見どころ案内を実施。 http://yuri-park.jp/	理解・協働	建設局 みどりの管理課
	サクラツアー	モエレ沼公園サクラの森を案内し、本州と比較してサクラの開花が遅い理由やサクラの生育環境の説明を行い、サクラを取り巻く自然環境を知ってもらうツアーを実施。 http://moerenumapark.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	公園スタッフと歩く冬芽観察会	モエレ沼公園内に生育する樹木の冬芽を観察し、自然が色々なバリエーションを持っていることを説明。また、春の渡り鳥の観察や冬から春に変わる季節の変化を公園で体験。 http://moerenumapark.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	ひらおか公園ツアー（平岡公園）	平岡公園の生き物や植物について、有識者の解説による観察会を全6回実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	ながぐつの土ようび（平岡公園）	平岡公園の登録ボランティアである「平岡どんぐりの森」と共催により、平岡公園の生き物や植物を中心とした親子向け自然体験会を全7回実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解・協働	建設局 みどりの管理課
	平岡公園ツリーウォッチング（平岡公園）	平岡公園の登録ボランティアである「平岡どんぐりの森」と共催により、平岡公園の植物や樹木を中心とした自然観察会を全7回実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解・協働	建設局 みどりの管理課
	ひらおか自然まるごと探検隊（平岡公園）	平岡公園の自然について、カエルや昆虫等毎回異なるテーマに沿って学ぶ小学生向けの体験会を全4回実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	白旗山札幌ふれあいの森における自然観察会	白旗山ふれあいの森の中を自然観察案内人と一緒に歩き、森の仕組みやおすすめのポイントなどを学ぶ自然観察会を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shirahatayama/hureainomori/syousai1.html	理解	建設局 みどりの管理課
	丘珠川いきもの観察会	川の水辺回復を目的として実施している導水事業の効果把握のため、丘珠川において地域の児童と共同での生き物観察会を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu12.html	理解・協働・活用	下水道河川局 河川事業課
	月寒川にぎわい川まつり事業	子どもを中心とした地域の住民が、地域の自然や環境について考えるきっかけとなるよう、河川環境専門家の指導の下、月寒川に生息する動植物の観察体験を実施。水車等を使った発電実験や、ボート・チューブ乗り等のプログラムを実施。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/kawamatsuri/	理解・継承	白石区 地域振興課
	青葉中央公園ジャック（自然とふれあおう）	子どもたちが普段とは違った視点から自然を観察することで、自然に対する関心や愛着を高めてもらうこと等を目的として、ツリーイング（ロープを使った木登り）を実施。また、地域住民と協働で青葉中央公園内の動植物を観察する自然観察会や「ホタル観察会」も実施。	理解・協働	厚別区 青葉まちづくりセンター 地域振興課

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
自然体験	あしりべつ川 体験塾	小学生に自然の大切さや生命の尊さを実感してもらうことを目的に、NPO法人あしりべつ川の会等のボランティア団体との協働で、「あしりべつ川」を教材とした自然体験イベントを実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/ashiribetsugawa/	理解 協働 継承	清田区 地域振興課
	ホタル観賞事業	区民に自然環境の保護・保全について関心を持ってもらうため、NPO法人札幌清田ホタルの会の協力の下、ホタル幼虫放流式及びホタル観賞会を開催。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/hotaru/hotaru.html	理解 協働 継承	清田区 地域振興課
	白旗山 自然探検隊	白旗山の自然への理解を深めることを目的として、自然に詳しい案内人と散策用歩道を歩き、植物・虫・鳥等の特徴や生態について説明する自然観察会を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/shirahatayama/tankentai/tankentai.html	理解 協働 継承	清田区 地域振興課
	琴似発寒川への 稚魚放流事業	身近な川を理解し自然に親しむため、各連合町内会が主体となり、琴似発寒川及び左股川6会場でヤマメの稚魚30,000匹の放流を実施。（参加者1,820名）	理解 協働 継承	西区 地域振興課
	小学生の夢・ 10年後の手稲の まち事業	子どものまちづくりへの関心を高めるため、小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマに絵を募集。アイディア作品を受賞した児童を対象に、星置緑地で植物観察、星置川で水生生物観察を実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/shimin/chiikishinkou/shougaku_yume.html	理解	手稲区 地域振興課
	札幌市青少年山の 家運営事業	登山、ハイキング、沢探検等の自然環境を生かした野外プログラムを利用団体に提供し、活動を支援。また、子どもから大人までを対象としたキャンプ事業等の自然体験プログラムを実施。 http://sapporo-yamanoie.jp/	理解	教育委員会 生涯学習推進課
	札幌市定山渓 自然の村 運営事業	家族や小グループで利用できる野外教育施設として、定山渓自然の村を運営。コテージ、テントサイト等の施設があり、経験の浅い市民でも自然体験活動に親しめるよう支援するほか、森づくり体験事業や昆虫観察等の自然体験プログラムを実施。 http://www.sj-naturevillage.jp/	理解	教育委員会 生涯学習推進課
	アイヌ文化 交流センター 運営事業	自然の恵みに感謝し、共存しながら暮らしていたアイヌ民族の伝統文化や自然観を、屋内外の様々な展示物などで紹介。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/	理解 継承	市民文化局 アイヌ施策課
環境教育	西岡公園 調査報告展	札幌市博物館活動センターと公益財団法人札幌市公園緑化協会の連携事業として、同協会が主催する小学生による自然調査隊「ヤンマ団」と「さかな組」の調査報告展を実施。調査結果はパネルや新聞にし、来館者へ報告。	理解 協働 活用	市民文化局 文化振興課
	植物に関する 企画展示	札幌市博物館活動センターにて、水草の生態展示のほか、札幌の水草の種類や生態等について札幌の自然の移り変わりと絡めながらパネルで解説する「札幌の水草展」を実施。	理解	市民文化局 文化振興課
	デリバリー・ ミュージアム	小学校に札幌市博物館活動センターの学芸員が出向き、札幌や学校周辺の「自然の成り立ち」「植物の観察」等をテーマに、その土地における自然の移り変わりや植物についてフィールドワークを通して児童に解説。	理解 活用	市民文化局 文化振興課
	サイエンス・ フォーラム inさっぽろ	札幌科学談話会（市民団体）、博物館活動センター等で構成する「サイエンス・コンソーシアム札幌」が主催する市民向けフォーラムを開催。「樹齢300年のハルニレが見てきた札幌の町」をテーマとし、市内に残る巨木・老木の存在を切り口に、札幌の町や緑地・公園の成立について振り返るフォーラムを開催。	理解 協働	市民文化局 文化振興課
	人とペットの 暮らしひろば 2017	動物愛護の精神及び適正飼育の普及啓発を図るとともに、動物と触れ合うことの楽しさを知ってもらうことを目的として、一般社団法人札幌市小動物獣医師会との共催で開催。ポスターやパネルの展示、クイズラリー、数多くの体験型イベントやふれあいイベント等を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/aigo_syukan2017.html	理解 継承	保健福祉局 動物管理センター
	どうぶつ あいご教室	近年、子どもたちが動物と触れ合う機会が少なくなっていることから、幼稚園と保育園を対象に、札幌市動物愛護推進員と協力して、犬との接し方などについての講話を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html	理解	保健福祉局 動物管理センター
	リードをつないで 楽しくお散歩 キャンペーン	公の場所での犬の放し飼いをなくすため、全市的なキャンペーンを実施。あわせて、大規模公園にて飼い犬参加型のマナー教室を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/kouensanpo.html	理解 継承	保健福祉局 動物管理センター
	環境広場さっぽろ	産官学民による環境配慮の取組の発信と、環境技術や商品、サービス等の普及を図るとともに、来場者1人ひとりに対して地球環境を守るための行動の促進を図るため、総合環境イベントとして「つくろう！学ぼう！続けよう！ECOな街さっぽろ」をテーマに開催。（来場者33,028名） http://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/	理解 協働 活用	環境局 環境計画課
	水辺の活動 パネル展	河川等の水辺での活動を広く周知するため、市内3か所の小学校が行った水辺での活動内容を紹介するパネル展を地下歩行空間で開催。（参加者1,788名） http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jigyosha/houkokushoten.html	理解 継承 活用	環境局 環境対策課
	環境教育 プログラムの 実施	「円山動物園基本構想」の基本理念に基づき、札幌市の環境教育の拠点として様々な環境教育プログラムを展開、実施。 ●ドキドキ体験（猛禽類のフリーフライト等）の実施 ●動物の生息地の環境問題、地球温暖化の影響等に関する出前講座、総合学習における講義及びガイドの実施 ●園内次世代エネルギー施設に係るガイドの実施 ●環境問題、外来生物飼育動物の放棄、密猟・密輸等に関する説明看板の設置 ●小学生向け環境教育教材の提供 ●動物園ボランティアによる動物ガイド http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
環境教育	生物多様性 推進事業	都市の身近な生き物を含め、動物達のつながりについて知るための講演会、観察会等の実施 ●専門家による各分野の講演会 （外来生物、キノコ、シマエナガとタンチョウ、アフリカの野生動物等） ●コウモリ観察会 ●CISEサイエンスステーリング http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 活用	環境局 飼育展示課
	札幌の水辺の 生物の飼育及び パネル展示	多種の淡水魚、甲殻類、両生類等について、水槽飼育、パネル展示による解説、実際に触れる機会を設ける等、普及啓発を実施。 https://salmon-museum.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	外来生物の 飼育及び パネル展示	外来生物について、飼育展示やパネル解説等により、水辺環境や在来生物にもたらす弊害についての普及啓発を実施。 https://salmon-museum.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	フェアトレード フェスタの開催	大通公園にてフェアトレードフェスタを開催し、フェアトレード商品の普及啓発活動を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	活用	建設局 みどりの管理課
	創成川ライラック 写真募集	創成川公園にて、ライラックの開花期に市民が撮影した園内のライラックの写真を募集し、HP・イベント等で展示発表。 http://www.sapporo-park.or.jp/sousei/	理解 協働	建設局 みどりの管理課
	まるやま 野生動物カフェ	身近な野生動物と人との関わり方を考えるトークイベントを開催。 http://maruyamapark.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	野生動物への 餌付け検討会	過度な餌付けによって野生動物と人との距離が近くなりすぎている現状に対し、今後、野生動物と共存していくためにどうすべきか考える検討会を開催。 http://maruyamapark.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	植物残渣の リサイクルや 環境教育	百合が原公園及び他の公園から発生する剪定枝、落ち葉、刈草、花柄等をチップ化、堆肥化し、公園の花壇等に還元し環境負荷を軽減。近隣小中学校等の公園を利用した環境学習、職場体験で普及啓発を実施。 http://yuri-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	緑化講習会	百合が原公園にて、減農薬による植物の育て方などの講習会を開催。 http://yuri-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	展示会	百合が原公園緑のセンターにて、希少な植物を含めた様々な植物を展示する展示会を開催。 http://yuri-park.jp/	理解	建設局 みどりの管理課
	実生苗で ミニ盆栽を作ろう	モエレ沼公園サクラの森で、モミジやサクラ等の盆栽に適した実生苗を掘り取ってミニ盆栽を作成。その際に実生苗がどのような環境で育っているか、どのような樹木が盆栽に適しているかを解説。また、掘り取りや植え込みを通じて、樹木についての知識や札幌の式のあり方、植物の生育について学習。 http://moerenumapark.jp/	理解 活用	建設局 みどりの管理課
	木の葉で 叩き染め	モエレ沼公園に生育している草木の葉や花をそのまま使った布の染め付けを実施。植物には色々な色・形・硬さがあり、種類や生育環境によっても違いがみられること、布に染め付けることで思ってもいなかった色になること等、自然の意外性を学習。 http://moerenumapark.jp/	理解 活用	建設局 みどりの管理課
	緑の絵 コンクール	公益財団法人札幌市公園緑化協会との共催により、小中学生を対象に自然の大切さや緑化に関する意識の高揚を図ることを目的とした絵のコンクールを開催。（応募総数25校517点） http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 活用	建設局 みどりの管理課
	緑と花の フォトコンテスト	公益財団法人札幌市公園緑化協会主催事業として、公園・緑地で撮影した、緑や花の魅力、美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した写真作品を募集。（応募総数495点） http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 活用	建設局 みどりの管理課
	出前授業	将来を担う子どもたちを対象に、下水道が水環境の保全に果たす役割や大切さを重点的に伝える出前授業を実施。	理解	下水道河川局 経営企画課
	河川事業 パネル展	河川事業や川に棲む生き物等を紹介するパネル展を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/panel/panel.html	理解 活用	下水道河川局 河川事業課
	環境に優しい まちづくり支援	●エコキッズ・プログラム：川や公園等での自然体験教室（38回、参加者1,677名） ●親子でエコキッズプログラム：未就園児と保護者の自然体験教室（2回、参加者52名） ●西区コドモ自然学校：区内の小学4年生を対象とした自然体験学習会（2回、参加者33名） ●親子で環境満喫バスツアー：親子で工場をめぐり、各施設の省エネやリサイクル等、環境に関する取組について学ぶバスツアー（2回、参加者78名） ●西区こども環境広場：ゲームや実験などの体験を通じて環境を学ぶ環境イベント（参加者810名） ●エコトーク映画会：環境についての講演と映画上映会（参加者305名） ●使用済み廃食油の独自回収（15団体、3,114リットル回収） など http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/kankyo-kyogikai/top.html	理解 協働 活用	西区 地域振興課
	さっぽろ 市民カレッジ	植樹を通じて森の役割について学ぶ「森の学校」や、ミツバチの生態から身の回りの自然環境について考える「ミツバチがつくるサッポロ」といった自然環境や、生物との共生に関する講座を計6講座実施し、自然環境について理解・関心を高める機会を提供。 http://chieria.slp.or.jp/	理解	教育委員会 生涯学習推進課

	事業名	概　要	4つの施策の柱	担当部署
地産地消	さっぽろ エコスクール宣言 「さっぽろっこ 環境ウィーク」	全ての札幌市立幼稚園・学校がエコスクール宣言をし、「環境首都・札幌」の宣言日である6月25日にあわせて環境に関わる取組「エコアクション」を実施。幼児児童生徒の環境を守り育てようとする態度を育むとともに、その取組をホームページ上で情報発信。 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashiisuishinzigyou.html	理解 協働	教育委員会 教育課程担当課
	「さっぽろ とれたてっこ」に 関する取組	札幌市やJAさっぽろ等により構成される札幌市農業振興協議会の事業として、「さっぽろとれたてっこ」認証制度とこれに関連する取組を実施。認証生産者の拡大と市内消費者へのPRを通じ、環境負荷の低減を可能とする農業や、環境に配慮した消費行動を推進。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/toretate/	継承 活用	経済観光局 農業支援センター
	さっぽろ 食スタイルの 普及・啓発事業	第2次札幌市食育推進計画の推進の柱としている「さっぽろ食スタイル」の普及啓発を、食生活改善推進員協議会・食育サポート企業等と連携・協働して実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/syokuiku/s08hokkaido.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 健康企画課
	さっぽろ食の 安全・安心 市民交流事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか、農場や工場等を見学し、市民と事業者が意見交換等をする体験学習を実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyo/	理解	保健福祉局 食の安全推進課
	さっぽろ子ども 食品Gメン 体験事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか札幌市中央卸売市場、スーパー等を見学して食品衛生監視員の仕事を通して学べる体験学習を実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyo/	理解	保健福祉局 食の安全推進課
	春の山菜展2017	毒草の誤食による食中毒を未然に防ぐための啓発イベントを、道立衛生研究所の薬用植物園にて、同研究所と札幌市保健所の共催により開催。山菜と毒草類等の鉢植え及びパネルの展示を実施。（参加者468名）	理解	保健福祉局 食の安全推進課
	きよたマルシェ	地産地消の推進や食による清田の魅力発信を目的に開催。清田区や近郊の農家による軽トラでの農産物販売、区内飲食店や菓子店による清田野菜を使った軽食やお菓子等の販売、札幌の名のつく伝統野菜（サッポロナンバン、サッポロミドリ等）の販売・PRを実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/marufes/h29/	継承 活用	清田区 地域振興課
	キッズ・シェフ	子どもたちが自ら収穫した野菜等の調理を通して、地元で採れる旬な野菜や果物のおいしさ、地産地消、食べ物の大切さについて学習。（4回、参加者延べ23組53名）	理解 活用	西区 地域振興課
ごみ減量	スリムシティ さっぽろ計画の 推進	札幌市一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画（改定版）」に基づき、環境負荷低減に向けた各種のごみ減量施策を実施。 https://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/slimplan/	理解 協働 継承 活用	環境局 循環型社会 推進課
	さっぽろ 学校給食 フードリサイクル	学校給食の調理くずや食べ残しを堆肥化し、市内の農家でその堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れる食物の循環の取組を実施。また、小中学校の「フードリサイクル堆肥活用校」（196校）では、堆肥を活用した栽培活動等の取組を実施。児童生徒がこの取組を通じ、フードリサイクルの目的や地産地消、食べ物の大切さについて学習。 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html	理解 協働 継承 活用	教育委員会 保健給食課
省エネルギー	札幌型 省エネルギー ビジネス創出事業	省エネに関するビジネスの創出と事業者の省エネ意識の浸透を目的に、省エネルギーに関するサービス、人材育成、普及啓発を推進する事業者を公募し、「省エネ相談窓口」を開設。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/shouene/shouene-business.html	活用	経済観光局 立地促進・ ものづくり産業課
	札幌型 環境・エネルギー 技術開発支援事業	省エネルギー、創エネルギー等の環境・エネルギー分野における新製品・新技術の開発や販路開拓拡大に関する取組を支援。技術・製品開発5件、販路開拓・拡大1件を採択。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/kankyo-energy/kankyo-energy.html	活用	経済観光局 立地促進・ ものづくり産業課
	エコドライブ活動 定着推進事業	自動車から排出される二酸化炭素の低減を目的に、運転シミュレーターやパンフレットを用いた市民への啓発活動、運転診断機材の貸し出しや講習会の開催による事業者のエコドライブ活動の支援を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya_kankyo/ecodrive.html	継承	環境局 環境計画課
	省エネ・ 節電啓発事業	低炭素社会実現のため、ムダなく、かしこく省エネ・節電を楽しむ暮らし方「さっぽろスマートライフ」が定着した街を目指し、ポスター等で呼びかけるほか、うちエコ診断、家庭の消費電力量見える化機器の貸出等市民参加型の事業により、普及啓発を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/	継承 活用	環境局 環境計画課
	次世代エネルギー システム導入 補助事業	地球温暖化対策として再生可能エネルギーの一つである、間伐材や林地残材などの木材を原料とした木質バイオマス燃料の利用拡大の取組を推進。 ●木質バイオマスストーブ導入補助（67台） ●ペレットストーブの展示会 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/wood/tenjikai/	活用	環境局 エコエネルギー 推進課
	環境負荷の 軽減の取組	百合が原公園リリートレイン、作業機械の一部にバイオディーゼル混合燃料を使用し、二酸化炭素の排出量を軽減。 http://yuri-park.jp/	継承	建設局 みどりの管理課
	環境マネジメント システム（EMS）の 運用	エネルギー使用量の削減や環境に配慮した物品や役務を積極的に調達するグリーン購入の推進等、事務事業における環境負荷の低減を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/shiyakusho.html	継承	全庁

生物多様性の基礎知識

札幌市の生物多様性
PRキャラクター
カッコー先生

生物多様性とは…　“生き物どうしのつながり”を表す言葉です。

地球上には、約180万種、未知のものも含めると、3,000万種とも推定される生き物が存在しています。すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。

このように様々な生き物が存在し、それぞれがつながり合っている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。この生物多様性の喪失は、世界中の生物多様性に依存している私たちの暮らしに大きな影響を与えます。

生態系サービス　私たち人間の命と暮らしは、生物多様性の恵み（生態系サービス）に支えられています。

すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。

生活の糧です

多様な生き物は、食物・衣服・木材・燃料・医薬品など生活に必要な資源として、衣・食・住を支えています。

豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成などに寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の土台となっています。

生活の安全を支えます

豊かな森林生態系は、水を蓄えたり、二酸化炭素を吸収するほか、土砂崩れの防止や防風などの機能を持っています。

生物多様性の危機　今、多くの生き物が、絶滅の危機にあります。

生物多様性は、主に人間活動の影響により、４つの危機にさらされ、急速に失われつつあります。

現在、地球上では自然の速さの1,000倍というスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

第1の危機　開発や乱獲による危機
開発や乱獲、過剰な採取によって、多くの生物が絶滅の危機に直面しています。

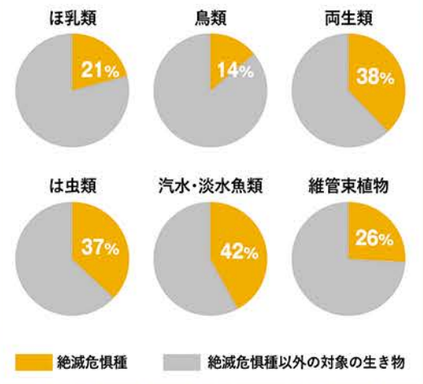
第2の危機　自然に対する働きかけの減少による危機
人工林や農地の放置等により、里地里山に暮らす動植物が絶滅の危機にあります。

第3の危機　外来種や化学物質の持ち込みによる危機
外来種の中には在来種を捕食したり、生息・生育場所を奪ったりするものがいます。
化学物質には動植物への毒性をもつものがあります。

第4の危機　温暖化など地球環境の変化による危機
平均気温が1.5～2.5℃上がると、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。

〈絶滅危惧種の割合〉

絶滅危惧種 3,675種



※環境省レッドリスト2018（環境省、2018）